

令和2年度

事業報告書

社会福祉法人
田原市社会福祉協議会

目次(決算額一覧表)

事業名	頁	支出決算額(単位:円)		比較増減
		令和2年度	令和元年度	
◎法人運営				
1 法人運営事業	1	61,373,542	61,903,319	△ 529,777
2 結婚相談事業	5	5,508,522	7,364,083	△ 1,855,561
3 共同募金配分金事業	6	2,154,053	3,059,383	△ 905,330
◎地域福祉活動				
4 ボランティアセンター運営事業	7	5,994,441	5,894,014	100,427
5 生活ささえあいネット事業	10	9,976,769	9,981,232	△ 4,463
6 地域福祉ネットワーク事業	12	8,218,000	8,378,610	△ 160,610
7 生活支援体制整備事業	15	10,061,684	6,324,037	3,737,647
◎福祉サービス利用支援				
8 成年後見センター事業	16	12,482,811	16,777,870	△ 4,295,059
9 日常生活自立支援事業	17	866,992	727,603	139,389
10 資金貸付事業	18	2,483,500	350,000	2,133,500
11 心配ごと相談事業	19	1,881,000	2,137,098	△ 256,098
12 障害児相談支援事業	19	0	124,741	△ 124,741
13 一般相談支援事業	20	0	0	0
14 特定相談支援事業	21	18,255,572	18,085,675	169,897
15 高齢者支援(地域包括支援)センター事業	23	35,372,000	38,363,812	△ 2,991,812
16 生活困窮者自立相談支援事業	27	16,095,000	11,928,537	4,166,463
17 生活困窮者就労準備支援事業	28	3,405,276	3,537,983	△ 132,707
18 障害福祉サービス事業	28	10,931,036	11,290,260	△ 359,224
19 就労移行支援事業	28	22,591,820	18,564,115	4,027,705
20 移動支援事業	29	3,041,422	7,045,960	△ 4,004,538
21 生活介護事業	30	36,384,119	30,551,292	5,832,827
22 日中一時支援事業	30	3,669,420	3,811,302	△ 141,882
◎在宅福祉サービス(介護保険事業等)				
23 居宅介護支援事業	31	66,221,316	71,131,717	△ 4,910,401
24 訪問介護事業	32	30,868,136	33,544,054	△ 2,675,918
25 福祉車両運行サービス事業	33	1,568,005	2,224,720	△ 656,715
26 配食サービス事業	33	6,522,685	7,069,815	△ 547,130
27 高齢者介護予防事業	34	1,424,095	2,370,092	△ 945,997
◎施設・指定管理				
28 田原福祉センター管理運営事業	35	34,961,421	42,773,315	△ 7,811,894
赤羽根福祉センター管理運営事業	35	13,174,461	13,360,723	△ 186,262
事業報告の附属明細書について	36			
合 計		425,487,098	438,675,362	△ 13,188,264

本会は、田原市における社会福祉事業その他の社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び活動の活性化により、地域福祉の推進を図ることを目的として、次の事業を実施しました。

◎法人運営

1 法人運営事業

令和2年度支出決算額	令和元年度支出決算額	比較増減
61,373,542円	61,903,319円	△529,777円

[目的]

社会福祉法第109条に規定する市町村社会福祉協議会として、田原市社会福祉協議会の事業全体の管理、組織運営を適正に行います。

[主な事業内容・実績]

市派遣職員2人、正規・再雇用職員37人、嘱託職員10人、臨時職員45人の計94人（令和3年3月31日現在）により、田原市社会福祉協議会の全事業を実施しました。

- 理事会、評議員会等の開催
- 啓発及び広報活動 広報紙「社協だより」は奇数月発行（年6回）
- 法人運営全般に係る財務・人事管理、経理業務
- 職員研修の実施
- 福祉関係団体の活動支援
- 基盤強化計画の推進
- 法人運営に係る企画及び実施
- 福祉バスの実施
- 高齢者世話付住宅への生活援助員派遣
- 社会福祉基金及びボランティア基金の適正管理

(1) 理事会、評議員会等の開催

次のとおり理事会・評議員会等を開催しました。

ア 理事会

(ア) 第1回理事会 令和2年6月9日 於田原福祉センター
議事

- 第1号議案 評議員候補者の選出について
- 第2号議案 理事候補者の選出について
- 第3号議案 評議員選任・解任委員の選任について
- 第4号議案 令和元年度事業報告について
- 第5号議案 令和元年度決算について
- 第6号議案 令和2年度定時評議員会（第1回評議員会）の招集について

(イ) 第2回理事会 令和2年6月25日 於田原福祉センター
議事

- 第7号議案 会長の選定について

(ウ) 第3回理事会 令和2年12月17日 於田原福祉センター
※報告事項のみ

(エ) 第4回理事会 令和3年3月16日 於田原福祉センター
議事

第8号議案 令和2年度補正予算(第1号)について

第9号議案 令和3年度事業計画について

第10号議案 令和3年度予算について

第11号議案 令和2年度第3回評議員会の招集について

第12号議案 役員等賠償責任保険の加入について

イ 評議員会

(ア) 令和2年度定時評議員会(第1回評議員会)

令和2年6月25日 於田原福祉センター

議事

第1～2号議案 理事の選任について

第3号議案 令和元年度事業報告について

第4号議案 令和元年度決算について

(イ) 第2回評議員会 令和2年12月26日

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(ウ) 第3回評議員会 令和3年3月26日 於田原福祉センター
議事

第5号議案 令和2年度補正予算(第1号)について

第6号議案 令和3年度事業計画について

第7号議案 令和3年度予算について

ウ 監査会

第1回監査会 令和2年5月28日 於田原福祉センター

監査事項

a 令和元年度事業報告について

b 令和元年決算報告について

(2) 啓発及び広報活動

広報紙「社協だより」の発行(年6回・奇数月)を校区コミュニティ協議会及び地区自治会の協力を得て配布し、福祉事業の周知啓発と社協事業のPRを行いました。また、ホームページの情報掲示板を活用し、福祉イベントや各地域でのイベント開催案内等の情報を発信しました。

(3) 会員募集

社会福祉協議会の事業について各方面でご理解をいただけるようPRをしながら会員募集を行いました。また、校区コミュニティ協議会や地区自治会に特別会員としてのご協力をいただきました。

ア 募集実績

会員種別	令和2年度	令和元年度
一般会員 (個人 1口1,000円以上)	746件 (862,720円)	851件 (1,012,696円)
特別会員 (法人、自治会、団体 1口2,000円以上)	209件 (2,118,475円)	234件 (2,218,535円)
合計	955件 (2,981,195円)	1,085件 (3,231,231円)

イ 会費使途

予算区分	内容	金額(円)	割合(%)
法人運営事業	社協だより(年6回発行)発行費	1,180,100	45.2
	福祉バス(29人乗、1台)運行費	1,042,800	39.9
地域福祉ネットワーク事業	シルバーサロン(13グループ)助成	390,000	14.9
合計		2,612,900	100

(4) 福祉のつどい等福祉啓発事業

「第34回福祉のつどい」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とさせていただきますが、規模縮小と感染防止対策を施した「田原市社会福祉協議会表彰状及び感謝状贈呈式」を開催し、多年にわたり社会福祉の増進に寄与した功績顕著な方々に表彰状及び感謝状を贈呈し、功績を称えました。

(5) 各種団体支援助成

各団体の自立的な活動を支援するとともに、事業費の助成を行いました。

ア 事務局支援

次の団体の事務局として、会議資料等の作成及び市補助金申請等の事務支援を行いました。

民生児童委員協議会、遺族連合会、身体障害者福祉協会、人権擁護委員会、保護司会、協力雇用主会、更生保護女性会、子ども会連絡協議会、老人クラブ連合会、手をつなぐ育成会、母子寡婦福祉会、ボランティア連絡協議会、あつみNPOネットワーク

イ 事業費支援

次の社会福祉増進の事業を行う団体に、補助金を交付しました。

団体名	補助金額（円）	
	令和2年度	令和元年度
田原市仏教会 （花まつり、慰霊祭等）	719,130	719,130
六連神社奉賛会（慰霊祭）	14,070	14,070
合計	733,200	733,200

(6) シルバー見守り事業(市受託事業)

高齢者世話付住宅(久保川住宅)に生活援助員を派遣し、入居高齢者の生活相談等の業務を通じて自立的生活の指導・啓発に努めるとともに、積極的に外部の生きがいづくり活動の場へ参加を促すことに努めました。

	令和2年度	令和元年度
年間訪問件数（件）	41	46
相談室延利用人数（人）	899	999

(7) 福祉バス

地域の独り暮らし高齢者のうち、自動車の運転ができないことで買い物に困っている方を対象に実施してきた『買い物支援バス』は、『福祉バス』として高齢者サロン・障害当事者・コミュニティ関係者等が、社会参加や視察研修等、多様なニーズに活用できるように利用幅を広げてきましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、利用者数が大幅に減少しました。

利用目的		令和2年度		令和元年度	
		開催回数 (回)	延べ参加者 数(人)	開催回数 (回)	延べ参加者 数(人)
買い物 支援	大草	0	0	10	207
	野田	0	0	9	164
	高松	0	0	2	42
	伊良湖	0	0	4	85
	亀山	0	0	1	12
サロン活動		4	41	32	519
閉じこもり予防		1	13	7	90
視察研修		1	11	14	252
行事・大会・イベント他		4	33	20	369
合計		10	98	99	1,740

2 結婚相談事業(市受託事業)

令和2年度支出決算額	令和元年度支出決算額	比較増減
5,508,522円	7,364,083円	△1,855,561円

[目的]

ふれあい相談センターを開設し、独身男女のふれあいの場等の提供を行い、婚姻率の改善に繋げ、少子化対策に寄与します。

[主な事業内容・実績]

結婚を希望する方の相談対応やお見合い、イベント実施により出会いの場を提供しました。

- | | | |
|--------------------|-----------------------------|--------------|
| ○開設日 | 月曜日～日曜日 | 午前9時から午後5時まで |
| | (毎週水曜日、祝日、12月29日～翌年1月3日は休み) | |
| ○職員体制 | 相談員2名(嘱託職員) | |
| ○結婚等に関する相談対応 | | |
| ○婚活イベントの開催 | | |
| ○お見合いのコーディネート及び立会い | | |

決算額の比較増減については、開館日変更に伴う人件費の減額及びイベント開催回数の減少が主な理由です。

(1) 登録者数等の実績

区分	令和2年度	令和元年度
ふれあいカード登録者数(人)※	72	99
ふれあい相談センター 利用実績(件)	来客	268
	電話	302
	メール等	328
	計	898
ふれあいイベント延参加者数(人) (開催回数)	25 (2回)	128 (5回)
婚活セミナー延参加者数(人)	0	47
婚活セミナー開催回数(回)	0	1
お見合い件数(件)	8	12
成婚組数(組)	5	5

※ふれあいカード登録者数は、年度末数値で、登録期間は3年間で更新は可能です。

(2) 婚活イベントの開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、結婚を望んでいる独身者のための「婚活イベント」が予定変更となり、従来どおりの実施が出来ませんでした。

そのため、ズームを活用したオンライン婚活の婚活支援を行う事業所経営者の方に講師を依頼し、オンラインによる婚活のアドバイスやメイクのレッスンを体験してもらう機会を提供しました。

また、婚活支援を行う3事業所経営者を講師に招き、独身男女やその家族を対象とした結婚相談会を3日間開催しました。

(3) お見合いのコーディネート

登録制度によるお見合い希望の男女が、プロフィールカードを閲覧の後お見合いの申し出を行い、双方の合意があった場合に、お見合いの機会を提供しました。イベントへの参加が苦手な方にとっては、お見合いの方が成婚に至る可能性が高くなっています。

本年度は、8組のお見合いを実施し、3組が交際を始めています。

3 共同募金配分金事業

令和2年度支出決算額	令和元年度支出決算額	比較増減
2,154,053円	3,059,383円	△905,330円

[目的]

共同募金等の配分金を財源として、地域に暮らす人々が共に助け合い、安心して生活を送れるよう、様々な地域課題を解決するための活動を支援し、地域福祉の向上を図ります。

[主な事業内容・実績]

○敬老訪問事業
○ボランティア団体の活動支援
○社会福祉活動協力校への活動助成
○おもちゃ図書館の活動支援
○コミュニティサロンへの助成
○生活困窮者支援
○ボランティア表彰者への表彰状及び感謝状贈呈式の開催

多くの方々のご協力のもと、募金活動を実施し、共同募金運動の推進を図りました。(募金実施期間10月1日～12月31日)

区分	募金額(円)	
	令和2年度	令和元年度
街頭募金	0	153,757
イベント募金	9,243	239,435
学校募金	562,494	483,928
職域・戸別募金	1,093,158	1,156,129
法人募金	1,898,695	1,815,000
個人募金	211,142	229,829
その他	70,279	96,873
合計	3,845,011	4,174,951

愛知県共同募金会からの一般募金配分金と歳末たすけあい配分金で、次の事業を実施しました。

(1) 敬老訪問

田原市と共催で、満100歳以上の高齢者にお祝い品を9月4日に贈呈しました。今年度より、満88歳の方の贈呈は中止になりました。

区分	令和2年度	令和元年度	記念品
満88歳（人）		334	
満100歳以上（人）	58	51	バス・フェイスタオルセット
合計	58	385	

(2) ボランティア団体等への活動支援

ボランティア団体等の自主的な活動を支援するとともに、各種事業の助成を行いました。

団体名	助成金額(円)	
	令和2年度	令和元年度
ボランティア連絡協議会	86,000	86,000
あつみNPOネットワーク	86,000	86,000
おもちゃ図書館	50,000	50,000
各ボランティア団体（1団体） 田原市食生活改善健康づくり会	19,728	80,000
母子寡婦福祉会	0	270,000
社会福祉活動協力校※ 小学校18校、中学校5校、高等学校3校	1,287,620	1,283,113
合計	1,529,348	1,855,113

※社会福祉活動協力校には、1校最大で5万円を助成しています。

事業内容は、6地域福祉ネットワーク事業（5）社会福祉協力校事業（P14）を参照

◎地域福祉活動

4 ボランティアセンター運営事業

令和2年度支出決算額	令和元年度支出決算額	比較増減
5,994,441円	5,894,014円	100,427円

[目的]

地域の人たちが他者や地域に関心を持ち、できる時にできる事から、助け合い、分かちあえるボランティア活動に取り組めるよう支援します。

[主な事業内容・実績]

幅広い分野の各種ボランティア養成講座の開催、活躍の場を広げるための情報提供、ボランティアを行う人と必要とする人とのマッチングを行い、相互の交流や連携を図りました。

- 各種講座の開催
- ボランティアセンターの運営
- ファミリー・サポート・センターの運営
- 防災ボランティアコーディネーターの養成

(1) 講座開催

ボランティア活動参加への動機付けや技術の向上を図るため、各種ボランティア養成講座を開催しました。

ア ボランティア講座

内容	令和2年度		令和元年度	
	開催回数 (回)	参加人数 (人)	開催回数 (回)	参加人数 (人)
要約筆記入門講座	1	4	3	1
手話入門講座	8	7	3	2
点字入門講座	3	6	1	5
傾聴ボランティア講座	2	31	0	0
レクリエーション講座	4	50	4	48
ちょボラ講座	中止		この「ボランティア紹介セミナー」内で実施	
合計	18	98	11	56

イ ボランティア紹介セミナー

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となりました。

(2) 広域的ボランティア事業

第28回東三河ボランティア集会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、講演会のためのオンライン開催となりました。

また、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、ボランティア団体の皆さんが交流する機会がありませんでしたので、ボランティア連絡協議会登録団体の皆さんから、コロナ禍での活動内容や近況等メッセージを集めて冊子を作成・配布し、紙上での情報交換を行いました。

(3) ボランティアセンターの運営

ボランティアセンター運営に必要な職員を配置し、ボランティア活動に関する相談・登録・紹介・情報提供等を行うとともに、ボランティア団体、個人の活動を支援しました。

ア ボランティア登録状況 令和3年3月31日現在

	令和2年度	令和元年度
個人（人） ※	99	126
グループ（団体）	76（3,121人）	83（3,322人）

※個人には生活ささえあいネット・サポーター数を含みます。

イ ボランティア活動に関する相談受付

	令和2年度(件)	令和元年度(件)
依頼	4	12
紹介	7	16
連絡・調整	11	9
合計	22	37

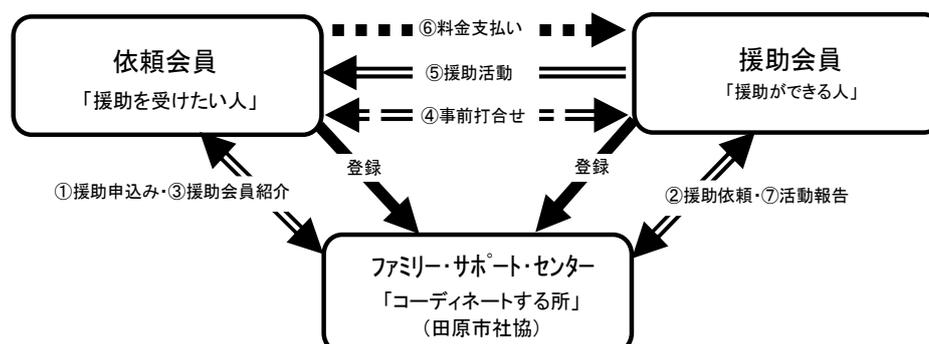
ウ ボランティア活動保険への加入状況

	令和2年度	令和元年度
個人（人）	33	62
グループ（団体）	37（821人）	44（991人）

(4) ファミリー・サポート・センターの運営(市受託事業)

平成27年4月から社協総務課に事務局を設置し、育児の援助を受けたい人(依頼会員)と育児の援助ができる人(援助会員)の会員登録と、依頼会員に対する援助会員の紹介を行いました。

ファミリー・サポート・センター制度概要図



※援助活動料金

- ・月～金曜日（平日）午前7時～午後7時
1時間500円(上記時間外600円)
- ・土日・祝日（休日）午前7時～午後7時
1時間600円(上記時間外700円)

年末・年始は休日料金となります。

複数の子どもを預ける場合、2人目からは半額となります。

ただし、援助会員1人に対し3人までです。

ア 登録状況

	依頼会員		援助会員		両方会員	
	2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度
年度末登録(人)	56	53	18	14	6	12

イ 活動実績

活動内容	令和2年度(件)	令和元年度(件)
送迎	169	13
預かり	19	29
送迎・預かり	12	21
合計	200	63

(5) 防災ボランティアコーディネーターの養成（市受託事業）

災害時において、災害ボランティアセンターが立ち上がった際、被災者とボランティアの調整役（コーディネーター）が担える人材を養成することを目的に、養成事業の支援をしました。

開催月	内容	参加人数
7月	防災ボランティアコーディネーター養成講座（2日間）	20人

※田原市総合防災訓練（センター立上げ訓練）及び防災ボランティアコーディネーターフォローアップ講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

5 生活ささえあいネット事業(市受託事業)

令和2年度支出決算額	令和元年度支出決算額	比較増減
9,976,769円	9,981,232円	△4,463円

[目的]

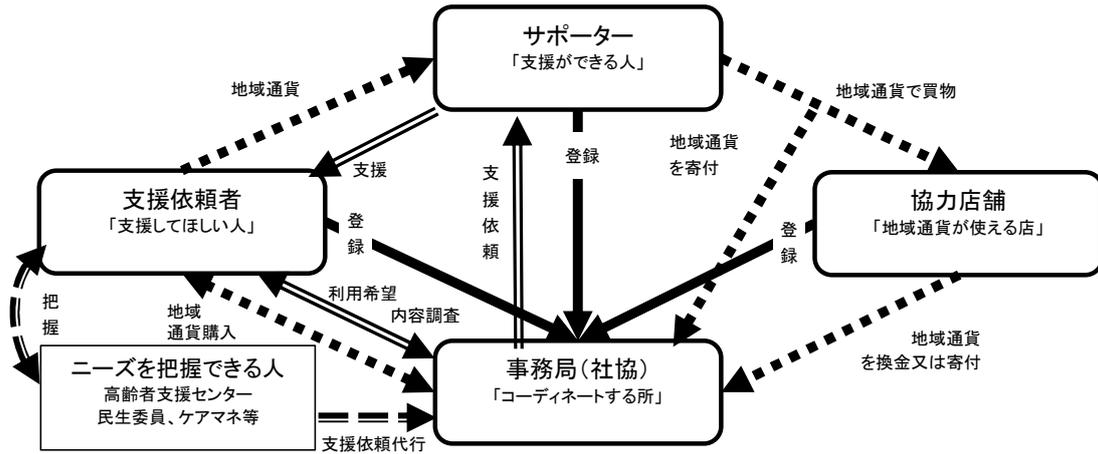
日常生活で支援が必要になっても安心して生活できる地域環境を整えるため、身近な地域での助け合いと地元商店との連携を図ります。

[主な事業内容・実績]

公的なサービスでは対応できない日常生活で起こるちょっとした困りごとを持つ人（支援依頼者）と、地域の住民やボランティア（サポーター）が「おたがいさま」の気持ちで支え合うシステムをコーディネートします。お礼の気持ちを形にした地域通貨『菜』の発行、協力店舗に関わる手続き等を行い、共助を積極的に行う地域づくりを推進しました。

- 支援依頼者、サポーター及び協力店舗の登録
- 支援依頼の受付、サポーターへの支援依頼（コーディネート）
- サポーターを対象とした研修の実施及び保険加入手続き
- 地域通貨の発行、換金及び管理

生活ささえあいネット制度概要図



※生活ささえあいネット地域通貨

- ・単位「菜（さい）」（100菜通貨1種のみで10枚綴り1冊）
- ・販売価格1,200円/冊（事務手数料200円含む）
- ・100菜で30分相当の支援利用

(1) 登録状況

	支援依頼者(人)		サポーター(人)		協力店舗	
	2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度
年度末登録	142	197	158	176	41 事業所 46 店舗	41 事業所 46 店舗

(2) 支援実績等

	初回コーディネート(件)		地域通貨販売(冊)	
	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度
年度実績	15	29	87	117
累計※	182	167	712	625

※累計は、平成26年10月の事業開始当初からの累積合計数

(3) 啓発活動等

ア 説明会

日程	対象	会場	参加人数(人)
9月	一色爺ちゃん婆ちゃん喫茶 (シルバーサロン)	一色集会所	20
	新井爺ちゃん婆ちゃん喫茶 (シルバーサロン)	新井構造改善センター	10
10月	田原東部協議体 (生活支援体制整備事業担当者より周知)	田原東部市民館	10
	認知症サポーター養成講座 (民生委員高齢者部会)	田原福祉センター	29

12月	認知症サポーター養成講座 (田原福祉専門学校オープンカレッジ)	田原福祉専門学校	11
1月	野田市民館にて事業紹介	野田市民館	6
合計			86

イ 広報

- ・社協広報紙「社協だより」掲載
第104号(1月15日発行) ※パンフレット挟み込み

6 地域福祉ネットワーク事業(市受託事業)

令和2年度支出決算額	令和元年度支出決算額	比較増減
8,218,000円	8,378,610円	△160,610円

[目的]

地域住民が相互に協力して障害者や高齢者等に対して支援を行うためのネットワークづくり・地域づくりを推進し、小地域での居場所を提供することで地域福祉の増進を図ります。

[主な事業内容・実績]

- 福祉関係事業者やボランティア(団体・個人)、その他の社会資源との連携並びに地域課題について情報交換
- 小地域での交流の場として、シルバーサロン・コミュニティサロンの運営
- 新規の自主サロン活動グループの育成
- 保育園児とサロン参加者等との交流会を支援
- 学校と地域のつながりづくりを支援
- 学童とサロン参加者等との交流会を支援
- 小・中・高校における福祉教育啓発活動や実践教室での講師派遣調整
- 小地域活動を支援するための講座、映画会

(1) 地域福祉活動の推進

市民館まつり等応援

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの市民館まつりが中止もしくは展示会のみでの縮小開催となりました。感染症対策をとって開催された2校区の市民館まつりに出向き、共同募金や社協が行う地域福祉活動に関する啓発を行いました。

開催日	行事名	対応状況
10月31日	六連市民館まつり	職員2人
11月1日	衣笠市民館まつり	職員2人

(2) 福祉出前講座、なつかしの映画上映会の開催

各地区で行うシルバーサロンや老人クラブなどに出向き、レクリエーションや福祉関連施策等について紹介する講座を開催しました。

また、サロンの希望に応じて映画を通して交流を楽しむ『なつかしの映画会』を開催しました。

	令和2年度	令和元年度
開催回数(回)	13	22
延参加者数(人)	130	340

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、映画会の開催が例年に比べて減少しました。

(3) 小地域での交流の場としてシルバーサロン等を開設・運営

市民館や集会所等身近な場所で、手芸・ゲーム・語らいのひとときを過ごし、地域の中で交流し、元気に長生きすることを目的に「ふれあいシルバーサロン」を設置し、高齢者等の憩いとふれあいの場を提供しました。

自主活動グループによるサロン運営に対して助成金の交付を行うとともに、レクリエーション器材貸出等の支援を実施しました。また、サロン代表者の事務手続きに係る負担の軽減と活動内容の提案を目的として、自主サロン代表者説明会を開催しました。

また、地域住民がリーダーとなって新たな居場所づくりに取り組む「コミュニティサロン」の活動支援を行いました。

ア 開催実績

		令和2年度			令和元年度		
		グループ・会場数	延開催回数(回)	延参加人数(人)	グループ・会場数	延開催回数(回)	延参加人数(人)
シルバーサロン	社協主催サロン※	18会場	302	2,183	18会場	359	2,913
	自主活動グループサロン	34グループ	851	8,564	34グループ	1,105	11,500
コミュニティサロン		6グループ	171	2,628	6グループ	214	3,391
合計		58	1,324	13,375	58	1,678	17,804

※社協主催サロンには、指導員(臨時職員)を派遣しています。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月～6月の間の社協主催サロンはすべて中止、自主サロンも多数のサロンが開催を自粛しました。

イ 助成制度

	開催回数	人数	助成金額(円)	備考
シルバーサロン (自主活動グループサロン)	月1回以上	5人以上10人未満	20,000	3年超は2/3 助成※
		10人以上	30,000	

コミュニティ サロン	月2回以上	10人未満	54,000
		10人以上20人未満	72,000
		20人以上	96,000

※シルバーサロン（自主活動グループサロン）の助成金は、立ち上げ後3年間は社協会費を財源とした社協の単独助成です。3年超のシルバーサロン（平成28年度以前に助成開始）と、コミュニティサロン（平成27年度助成開始）の助成金は田原市の間接助成として田原市から社協への委託料に含まれています。

(4) 地域における世代間交流

高松市民館及び赤羽根市民館で開催されたクリスマス交流会への参加支援を行いました。ボランティアによるダンスのステージ発表やストレッチ体操の体験などを、地域の高齢者の皆さんと子育てサロンの皆さんが一緒に楽しみました。例年であれば市内の保育園、小学校との多世代交流の場を設けていますが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。

開催日	行事名	対応状況
12月15日	高松サロン・高松子育てサロンクリスマス交流会	職員2人
12月23日	赤羽根、赤西サロン・赤羽根子育てサロンクリスマス交流会	職員2人

(5) 社会福祉活動協力校事業

市内の小・中・高等学校（小学校18校、中学校5校、高等学校3校）を社会福祉活動協力校に指定し、1校最大で5万円の助成金を交付するとともに、福祉実践教室等への講師派遣等を実施し、児童・生徒の健やかな成長を促し、思いやりのある福祉の心を育てるよう支援を行いました。

	令和2年度		令和元年度	
	開催回数 (回)	参加人数 (人)	開催回数 (回)	参加人数 (人)
車いす	15	583	14	535
手話	12	585	10	492
要約筆記	2	78	1	60
点字	8	260	5	174
盲導犬	3	88	5	181
視覚ガイド	9	369	10	419
知的障害	1	63	1	60
高齢者擬似体験	3	146	4	149
認知症	5	214	5	213
講話	0	0	0	0
合計	58	2,386	55	2,283

※社会福祉活動協力校への助成金は、全額共同募金配分金で賄われています。

7 生活支援体制整備事業(市受託事業)

令和2年度支出決算額	令和元年度支出決算額	比較増減
10,061,684円	6,324,037円	3,737,647円

[目的]

高齢者単身・夫婦のみ世帯等の増加に伴い生活支援ニーズが多様化するなか、既存の介護サービス事業所によるサービスだけでなく地域住民が主体となった生活支援サービスの充実が図られるよう、生活支援等の体制整備に向けた調整役として市内4つの圏域に生活支援コーディネーター（第2層）を配置することにより、地域における高齢者の生活支援・介護予防サービスの基盤整備を推進し、地域福祉の向上を図ります。

[主な事業内容]

中学校区を基本とした4つの日常生活圏域に生活支援コーディネーターをそれぞれ配置し、多様な生活支援サービスが利用できるとともに、住民同士の助け合い活動が活発になる地域づくり、介護予防意識の向上を目的とした地域住民への働きかけを行いました。

各コミュニティ協議会に置かれた市民館を中心にネットワーク構築を図るとともに、市民館長や主事、高齢者支援センターや民生児童委員、地域活動の実践者（ボランティア団体、サロン主催者等）等と地域の情報の共有や後方支援を行うことで、活動の促進・活性化を図りました。

- 地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起
- 関係機関とのネットワーク構築
- 生活支援の担い手養成やサービスの開発
- 必要時、個別ケア会議への出席

決算額の比較増減については、事業内容の充実化を図るため、担当職員を増員したことに伴う人件費の増額が主な理由です。

(1) 地域のニーズと資源の状況の見える化、問題提起

	令和2年度(回)	令和元年度(回)
地域生活のニーズ把握、課題整理	120	149
地域資源に関する資料更新、集約活動	186	155
地域住民が可能なことを考えるきっかけづくり	85	81

(2) 関係機関とのネットワークの構築

	令和2年度(回)	令和元年度(回)
関係機関等との連携強化	394	84
第二層協議体の設置、機能促進	23	60

(3) 生活支援の担い手養成やサービスの開発

	令和2年度(回)	令和元年度(回)
地域の担い手の発掘及び働きかけ促進 (サロンやボランティア団体等との交流、 相互理解促進)	48	33
地域とのつながりをつくり、サービスの開発 を促進	20	22

(4) 個別ケア会議への出席

	令和2年度(回)	令和元年度(回)
個別ケア会議への出席	4	4

◎福祉サービス利用支援

8 成年後見センター事業（市受託事業）

令和2年度支出決算額	令和元年度支出決算額	比較増減
12,482,811円	16,777,870円	△4,295,059円

[目的]

判断能力が十分でない障害者や高齢者の日常生活上必要な契約行為・財産の管理、権利侵害に対して、本人やその親族等養護者を支援することにより、本人の利益や権利の擁護に努めます。

[主な事業内容・実績]

成年後見制度利用に関する相談や権利侵害への対応、法人後見（身上監護（契約手続等）と財産の管理）の受任などの権利擁護・成年後見業務を行いました。

- 判断能力が不十分な方への権利擁護に関する相談対応
- 成年後見制度の申立支援（市長申立が必要な対象者への支援含む）
- 成年後見センター運営委員会の開催
- 法人後見人・法人後見監督人の受任
- 親族後見人等の相談対応
- 成年後見・権利擁護に関する啓発事業等の開催
- 日常生活自立支援事業利用に関する相談対応、支援
- 市民後見人等養成の検討

決算額の比較増減については、職員配置の減員に伴う人件費の減額が主な理由です。

(1) 広報及び周知啓発活動

- 『田原市成年後見センター』
 - ・社協広報紙「社協だより」掲載
第102号(9月15日発行)
 - ・社協ホームページによるPR

(2) 他機関との連携

- ・ 田原市障害者自立支援協議会
運営会議(全3回/6月、7月、8月第2火曜日)
権利擁護部会(全2回/8月26日、12月25日)
- ・ 東三河5市社協成年後見事業情報交換会 (全2回/豊橋市、新城市)

(3) 成年後見制度、権利擁護等に関する一般相談、支援

	令和2年度(人)	令和元年度(人)
相談実人数	53	62
内成年後見申立支援	(5)	(5)

(4) 法人後見の受任

	令和2年度(人)	令和元年度(人)
後見	8	10
保佐	5	4
補助	2	2
合計	15	16

9 日常生活自立支援事業 (県社協受託事業)

令和2年度支出決算額	令和元年度支出決算額	比較増減
866,992円	727,603円	139,389円

[目的]

認知症高齢者・知的障害者・精神障害者など判断能力が十分でない方のために、福祉サービスを利用する際の援助などを行うことで、自立した生活が送れるよう支援します。

[主な事業内容・実績]

判断能力の不十分な方（認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等）への福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理、貴重品の預かり等の支援を行いました。

- 福祉サービスの利用援助（相談・助言・情報提供、連絡調整、代行、代理）
- 日常的な金銭管理サービス（利用料：1回 1,200円）
- 書類等の預かりサービス（利用料：年間 3,000円）

(1) 利用者内訳

	令和2年度 (人)	令和元年度 (人)
昨年からの継続利用者数	12	13
新規契約件数	2	2
合 計	14	15
終了件数	2	3
年度末時点利用者数	12	12
未契約者数 (契約準備中/県社協承認済)	0	0

(2) 区分別利用者数

区分	認知	知的	精神	合計
人数	5	3	4	12

1 0 資金貸付事業(県社協受託事業)

令和2年度支出決算額	令和元年度支出決算額	比較増減
2,483,500円	350,000円	2,133,500円

[目的]

経済的、社会的基盤の不安定な低所得世帯等に対し、低利子又は無利子で福祉資金の貸付を行い、償還指導や生活援助活動を通して世帯の安定と自立を図ります。

[主な事業内容・実績]

- 生活福祉資金の貸付
- くらし資金の貸付

決算額の比較増減については、新型コロナウイルス感染症の影響により、従来の貸付制度の対象世帯が拡大され、休業や失業等を理由に生活資金が必要となった世帯に向けた特例貸付が実施されたためです。相談及び貸付件数が前年に比べ大幅に増加し、その業務に必要な受託料が増えています。

(1) 生活福祉資金貸付事業

	令和2年度(件)	令和元年度(件)
相談件数	188	7
貸付件数	178	1

(2) くらし資金貸付事業

	令和2年度(件)	令和元年度(件)
相談件数	0	1
貸付件数	0	0

1 1 心配ごと相談事業（市受託事業）

令和2年度支出決算額	令和元年度支出決算額	比較増減
1,881,000円	2,137,098円	△256,098円

[目的]

市民の日常生活上の様々な心配ごとの相談に無料で応じ、弁護士・司法書士・行政相談委員・民生児童委員・人権擁護委員等の相談員と連携し、適切な助言・指導等を行うことにより、福祉の増進を図ります。

[主な事業内容・実績]

○田原福祉センター	奇数月2回（原則第1・第3水曜日） 偶数月3回（原則第1・第3水曜、第4木曜日） 午後1時～午後4時
○赤羽根福祉センター	隔月1回（偶数月第2水曜日） 午後1時～午後4時
○あつみライフランド	毎月1回（原則第1火曜日） 午後1時30分～午後4時
※1件当たりの相談時間は30分	

(1) 会場別相談実績

地区	田原		赤羽根		あつみ		合計	
	2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度
相談件数(件)	161	160	0	0	38	62	199	222

(2) 内容別相談実績

内容	件数	内容	件数	内容	件数
生計	1	年金	0	職業・雇用	7
借金	10	貸金	6	多重債務	6
消費者被害	3	財産	5	土地・建物	23
借地・借家	3	境界・登記	4	相続	59
成年後見	3	家族・家庭	10	離婚・養育費	19
損害賠償	10	事故	2	DV・虐待	0
人権法律	3	その他	25		
合計（件）				199	

1 2 障害児相談支援事業

令和2年度支出決算額	令和元年度支出決算額	比較増減
0円	124,741円	△124,741円

[目的]

児童福祉法等関係法令に基づく指定事業所として、障害のある児童やその家族の地域生活を支援します。

[主な事業内容・実績]

障害のある児童が障害福祉サービスを利用するため、障害児支援利用計画書を作成し、サービス利用支援や訪問等によるモニタリングを行いました。

○田原市社協相談支援事業所 営業日 月曜日から金曜日まで (祝日、12月29日～翌年1月3日を除く) ・障害児支援利用計画書を作成、福祉サービスの利用援助 ・モニタリングの実施 ・障害児の居宅生活について必要な情報提供及び助言による援助

利用状況

	令和2年度	令和元年度
利用計画書作成件数 (件)	0	6

1.3 一般相談支援事業

令和2年度支出決算額	令和元年度支出決算額	比較増減
0円	0円	0円

[目的]

障害者総合支援法等関係法令に基づく指定事業所として、精神科病院に長期入院している方を対象に、退院後に地域で安心して生活ができるよう地域移行支援や単身で生活に不安がある方に、地域定着支援を行います。

[主な事業内容・実績]

○田原市社協相談支援事業所 営業日 月曜日から金曜日まで (祝日、12月29日～翌年1月3日を除く) ・地域移行支援 (精神科病院に長期間入院している方や、障害者支援施設に入所している方を対象に、退院や退所後に地域に移行して安心して生活できるよう住居確保、体験宿泊支援、障害福祉サービス利用調整等の支援) ・地域定着支援 (病院や施設から退院・退所した方、地域生活が不安定な方を対象に、常時の連絡体制を築き、緊急の事態等に対応する支援)
--

利用状況

	令和2年度	令和元年度
利用計画書作成件数 (件)	0	0

※他の事業所に専門の相談員 (精神保健福祉士) の配置があるため作成依頼なし。

1 4 特定相談支援事業（市受託事業）

令和2年度支出決算額	令和元年度支出決算額	比較増減
18,255,572円	18,085,675円	169,897円

[目的]

障害者総合支援法等関係法令に基づく指定事業所として、障害者等を対象に、障害福祉サービス利用計画書を作成し、適切なサービス提供を行いました。

[主な事業内容・実績]

不安の解消や余暇活動等、日常生活の様々な相談に応じる他、就労希望障害者に対して、障害者雇用が可能な企業等を開拓し、就労支援を推進しました。

<p>○田原市社協相談支援事業所</p> <p>営業日 月曜日から金曜日まで (祝日、12月29日～翌年1月3日を除く)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス等利用計画書の作成、福祉サービスの利用援助 ・モニタリングの実施 ・社会資源を活用するための支援 ・社会生活力を高めるための支援 ・権利の擁護のために必要な援助 ・専門機関の紹介 ・就労に関する支援 ・生活保護被保護者への就労支援 ・市内の障害者等のニーズの把握に関する業務 ・地域自立支援協議会各会議の運営に関する業務 ・介護保険サービスとの併用世帯や権利擁護を必要とする障害者に関する相談支援業務等

(1) 相談実績

相談方法	※相談実人数累計（人）		相談延回数(回)	
	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度
電話相談	66	75	336	624
来所相談	37	38	89	113
訪問・同行	55	58	145	160
その他(連絡調整等)	217	264	2,100	2,537
合計	375	435	2,670	3,434

(2) 支援実績

支援内容	※支援実人数累計(人)		支援延回数(回)	
	2年度	元年度	2年度	元年度
福祉サービスの利用支援 (障害児、一般、特定相談支援含む)	139	178	1,861	2,338
障害や症状の理解に関する支援	1	2	2	5
健康・医療に関する支援	0	3	0	3
不安の解消・情緒安定に関する支援	11	7	28	18
保育・教育に関する支援	0	1	0	1
家族関係・人間関係に関する支援	0	0	0	0
家計・経済に関する支援	3	3	22	30
生活技術に関する支援	2	0	2	0
就労に関する支援	72	73	586	982
社会参加・余暇活動に関する支援	1	1	1	1
権利擁護に関する支援	2	0	4	0
その他情報交換・生活状況確認等	31	16	164	56
合計	262	284	2,670	3,434

※(1)相談実績と(2)支援実績の支援実人数累計の合計が異なるのは、集計方法が異なるためです。相談件数が減少しているのは、障害者総合相談センターの配置職員(他法人職員)が増員され、利用が分散したためです。

(3) サービス等利用計画作成実績

実利用者数(人)		計画等作成件数(件)	
令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度
126	162	431	525

(4) 就労支援実績及び支援内容(相談件数は(1)(2)に含む)

ア 支援対象者数

(ア) 障害別

身体障害		知的障害		精神障害		その他(※)		計(人)	
2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度
5	6	24	23	29	27	7	8	65	64

※「その他」とはうつ病、発達障害、パニック障害等の障害者手帳未所持者

(イ) 就労状況別

在職		求職		計(人)	
2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度
43	37	22	27	65	64

イ 就職等の状況

就労支援（人）		定着支援（人）		※定着支援のうち			
				福祉的就労(人)		定着支援事業利用者（人）	
2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度
24	24	41	37	13	4	7	7

1 5 高齢者支援(地域包括支援)センター事業(市受託事業)

令和2年度支出決算額	令和元年度支出決算額	比較増減
35,372,000円	38,363,812円	△2,991,812円

[目的]

地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、高齢者が住みなれた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続できるよう、介護、保健、医療、福祉の増進を包括的に支援します。

[主な事業内容・実績]

- 総合相談支援業務
 - ・総合的な相談支援
 - ・独居及び高齢者のみ世帯への訪問による生活状況の確認と課題の早期発見
- 権利擁護業務
 - ・高齢者虐待の防止、消費者被害の防止活動
 - ・成年後見制度、日常生活自立支援制度活用の促進
- 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
 - ・地域の介護支援専門員と関係機関の連携支援
 - ・困難事例の相談受付及び同行訪問等の支援
 - ・事例検討会・研修会の実施
- 介護予防に係るケアマネジメント業務
 - ・事業対象者、要支援認定者の自立した日常生活の支援
 - ・介護予防に取り組む必要がある高齢者の把握及び介護予防に関する教室への参加促進
- 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築
 - ・地域の保健・福祉・医療サービス・ボランティア等の連携支援
 - ・生活支援コーディネーター、地域コミュニティと連携して社会資源を把握
- 認知症に関する取り組み
 - ・認知症に関する正しい知識の周知・啓発活動
 - ・認知症高齢者やその家族を地域で支え、見守る体制の構築
- 地域ケア会議の推進
 - ・多職種協働による個別ケースの検討及び問題解決
 - ・個別ケースの課題分析等を通じた地域課題の発見と地域づくり検討

決算額の比較増減については、職員の配置換えに伴う人件費の減額が主な理由です。

窓口	設置場所	営業日	担当圏域
主センター (総合相談)	赤羽根福祉センター	月曜日から 金曜日まで (祝日、12 月29日～翌 年1月3日を 除く)	野田小学校区 赤羽根中学校区 泉中学校区 伊良湖岬小学校区
サブセンター (総合相談)	あつみライフランド		
ブランチ (窓口機能)	田原福祉センター		

主センター、サブセンターは携帯電話への転送機能を使用し、24時間365日の相談対応を行いました。

- (1) 総合相談支援業務、多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築等生活圏域の身近な相談窓口として、高齢者やその家族からの介護や生活等の相談、独居高齢者・高齢者世帯の訪問を行いました。

新規総合相談件数は、前年度に比べ減少しましたが、前前年度比較では増加でした。初期の相談内容としては、総合事業利用、介護保険サービス利用のための介護保険申請に関する内容が多い状況でした。また、他制度との協働が必要な事例はそれぞれの制度担当者と連携を取りました。

独居高齢者・高齢者のみ世帯へ訪問しての実態把握業務は、新規訪問する家庭では聞き取り、面談の拒否が数件ありました。

ネットワーク構築活動は、新型コロナウイルス感染症の影響で、各教室、地域の集い等が中止となったり人数制限をしておいた活動であることが多く、予定通りの活動が行えない状況でした。介護保険関係事業者等連絡会の事務局として研修会等の開催・事業者ガイドブックの作成を実施しました。

ア 主センター・サブセンター対応実績

圏域	電話 (件)		来所 (件)		訪問 (件)		計 (件)	
	2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度
野 田	97	82	17	18	257	256	371	356
赤 羽 根	225	212	109	113	520	532	854	857
泉	195	115	207	68	347	284	749	467
伊良湖岬	141	184	56	56	209	225	406	465
担当圏域外	15	15	21	30	6	10	42	55
合計	673	608	410	285	1,339	1,307	2,422	2,200

イ ブランチ対応実績

圏域	電話(件)		来所(件)		訪問(件)		計(件)	
	2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度
野田	0	1	1	2	0	0	1	3
赤羽根	1	0	2	0	0	0	3	0

泉	0	0	0	1	0	0	0	1
伊良湖岬	0	0	0	2	0	0	0	2
福江	2	2	2	2	0	0	4	4
東部	4	2	5	2	0	0	9	4
田原(童浦小校区除く)	2	4	2	7	0	0	4	11
田原(童浦小校区)	0	1	2	1	0	0	2	2
市外・不明	6	3	1	4	0	0	7	7
合計	15	13	15	21	0	0	30	34

ウ ネットワーク構築実績

圏域	令和2年度(件)	令和元年度(件)
野 田	7	59
赤 羽 根	27	20
泉	12	7
伊 良 湖 岬	38	99
市 内 全 般	72	94
合計	156	279

(2) 権利擁護業務

認知症、精神疾患、知的障害疑いによる判断能力が不十分と思われる方に対するの日常生活自立支援事業、成年後見制度の説明、利用提案を行いました。近隣に親族が居住していても、親族間の関係が希薄、親族の方も判断能力、社会生活上課題をもっている事例が増加しています。

虐待への対応も、解決に至るまで長期間、頻回な支援が必要になっている事例が増加傾向にあります。

困難事例は、経済的な困窮高齢者のケースがありました。生活困窮自立支援事業担当者と協働して対応しました。

援助項目	延件数(件)	
	令和2年度	令和元年度
成年後見制度等の利用	61(実人数6名)	21(実人数5名)
虐待への対応	48(実人数4名)	23(実人数1名)
消費者被害への対応	0(実人数0名)	2(実人数1名)
困難事例への対応	97(実人数3名)	31(実人数2名)
合計	206(実人数12名)	77(実人数9名)

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

個別支援では地域との連携を意識して、地域ケア個別会議、担当者会議を実施しました。

虐待疑いから介入し、継続的に介護支援専門員の支援に至るケースが2件あり、認知症要介護者の対応、金銭の管理、生活上の危険性の判断が難しくなってきた事例について、居宅介護支援事業所から相談が寄せられる事例が増加しています。

個別支援

	令和2年度	令和元年度
実人数（人）	10	10
延べ支援数（回）	94	75

(4) 介護予防ケアマネジメント業務

介護予防ケアマネジメント、指定介護予防支援計画作成が必要な方には、自立支援を目標としたプラン作成を心がけ、計画作成件数は増加傾向にあります。また、シルバーサロンや教室、集いへの参加の声掛け、地域の社会資源の活用の提案を行いました。

ア 介護予防プラン作成業務（要支援の方等）

	令和2年度	令和元年度
年度末登録者数(人)	171	158
予防プラン作成件数(件)	1,996(委託件数0件)	1,847(委託件数0件)

イ 指定介護予防支援・介護予防ケアマネジメント相談内訳

圏域	電話（件）		来所（件）		訪問（件）		連絡調整（件）		計（件）	
	2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度
野田	140	103	2	4	369	351	300	274	811	732
赤羽根	240	221	27	17	500	560	717	811	1,484	1,609
泉	207	160	0	4	382	383	276	308	865	855
伊良湖岬	237	208	23	24	614	700	128	289	1,002	1,221
その他	0	2	0	0	0	15	6	25	6	42
合計	824	694	52	49	1,865	2,009	1,427	1,707	4,168	4,459

(5) 認知症に関する取り組み

新型コロナウイルス感染症の影響で、認知症サポーター養成講座の参加者数は減少となりました。また、同様の理由で地域への啓発も実施できませんでしたが、令和3年度以降につながるよう企業に対して開催啓発を行いました。

ア 認知症サポーター養成講座

開催数（回）		参加人数（人）	
2年度	元年度	2年度	元年度
4	4	85	109

イ 認知症対応講座

開催数（回）		参加人数（人）	
2年度	元年度	2年度	元年度
1	1	46	51

(6) 地域ケア会議の推進

必要に応じ地域ケア会議を開催し、チームでの個別支援とネットワーク構築に向けた地域課題把握等を行いました。

個別支援開催数(回)		圏域課題支援(回)	
2年度	元年度	2年度	元年度
6	6	1	2

1 6 生活困窮者自立相談支援事業（市受託事業）

令和2年度支出決算額	令和元年度支出決算額	比較増減
16,095,000円	11,928,537円	4,166,463円

[目的]

さまざまな困難を抱え生活に困窮している方へ包括的な相談支援を行うことにより、生活保護へ至る前の自立を促します。

[主な事業内容・実績]

田原福祉センターに職員を配置し、寄り添いながら自立に向けた支援を行いました。

コロナ禍の生活困窮者の抱えている課題を適切に評価・分析し、住居確保給付金利用や食料の支給、就労に関する支援や医療機関へのつなぎ、貸付制度等他の福祉制度の紹介・利用支援、その他必要に応じて課題を踏まえた個別の自立支援計画を作成しました。

○職員体制（田原福祉センターに配置）

- (1) 主任相談支援員兼就労支援員 1人
- (2) 相談支援員 1人

○利用対象者

経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある方

決算額の比較増減については、困窮世帯の増加や長期化する相談支援に対応するため、職員体制を強化したことが主な理由です。

相談実績

	令和2年度(件)	令和元年度(件)
新規	77	27
計画作成	8	16
住居確保給付金受付	8	0
食料支援	175	39

1 7 生活困窮者就労準備支援事業（市受託事業）

令和2年度支出決算額	令和元年度支出決算額	比較増減
3,405,276円	3,537,983円	△132,707円

[目的]

就労に向けた準備が整っていない生活困窮者等に、生活習慣確立のための指導等を行い、日常生活や社会生活の自立を支援します。

[主な事業内容・実績]

就労に向けた準備として、日常生活や社会生活自立支援段階から相談に応じ、社会参加・就労への第一歩を支援しました。

○職員体制	就労準備支援員 1人（田原福祉センター）
○利用対象者	生活リズムが崩れている等の理由により、就労にむけた準備が整っていない生活困窮者等

相談実績

	令和2年度	令和元年度
相談件数（件）	11	13

1 8 障害福祉サービス事業（障害者総合支援法に基づく事業）

令和2年度支出決算額	令和元年度支出決算額	比較増減
10,931,036円	11,290,260円	△359,224円

[目的]

障害者総合支援法等関係法令に基づく指定居宅介護事業所として、利用者が居宅において自立した日常生活や社会生活を営むことを支援します。

[主な事業内容・実績]

必要な居宅介護及び同行援護を適切に行いました。

○田原市社協ヘルパーステーション
営業日 月曜日から日曜日
（第3日曜日、12月29日～翌年1月3日を除く）

実利用者数（人）※月平均		延派遣時間数（時間）		延派遣回数（回）	
2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度
26	28	2,616	2,836	2,695	2,932

1 9 就労移行支援事業（障害者総合支援法に基づく事業）

令和2年度支出決算額	令和元年度支出決算額	比較増減
22,591,820円	18,564,115円	4,027,705円

[目的]

障害者総合支援法等関係法令に基づく指定事業所として、一般企業への就職を希望し、雇用される見込みのある障害者に対して「安心して働き続けること」を目標に支援します。

[主な事業内容・実績]

本人の意向・適性に基づいた計画書を作り、施設内での就労訓練や職場実習等を行うことにより、早期の就労を図るとともに、就職後の定着支援を行いました。

○多機能型事業所田原市社協・就労定着支援事業所					
営業日 月曜日から金曜日まで					
(祝日、12月29日～翌年1月3日を除く)					
・個別支援計画の作成					
・就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練					
・生産活動の機会の提供					
・実習先企業等の紹介					
・就労への移行に向けた求職等の支援					
・就労後の職場定着のための支援					

決算額の比較増減については、前年度の就職実績に伴う報酬単価の増額により増収となり、他事業への繰出しを行ったことが主な理由です。

利用実績

実利用者数(人)		延利用回数(回)		就職者数(人)	
2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度
9	13	1,834	2,074	6	4

利用者数については、年度末における数値

20 移動支援事業

令和2年度支出決算額	令和元年度支出決算額	比較増減
3,041,422円	7,045,960円	△4,004,538円

[目的]

田原市等の地域生活支援事業の指定事業所として、障害者児の余暇支援等が適切に行えるよう外出援助を行います。

[主な事業内容・実績]

利用者が映画、コンサート等各種イベントに参加する際の外出支援を行いました。

○田原市社協ヘルパーステーション		
営業日 月曜日から日曜日		
(第3日曜日、12月29日～翌年1月3日を除く)		

決算額の比較増減については、新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が減少したことが主な理由です。

事業実績

実利用者数(人) ※月平均		延派遣時間数(時間)		延派遣回数(回)	
2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度
15	23	1,249	3,228	323	744

2.1 生活介護事業（障害者総合支援法に基づく事業）

令和2年度支出決算額	令和元年度支出決算額	比較増減
36,384,119円	30,551,292円	5,832,827円

[目的]

障害者総合支援法等関係法令に基づく指定事業所として、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、適正なサービスを提供することを目的とします。

[主な事業内容・実績]

居宅に近い環境の中で、地域及び家族との結びつきを大切にし、創作、作業、余暇活動等を行い、生きがいや居場所づくりを行いました。

○田原市社協生活介護事業所なのはな（18歳以上の障害者を対象）
営業日 月曜日から金曜日
（月曜日固定の祝日を8月10日「山の日」、9月21日「敬老の日」、1月11日「成人の日」、8月13日から8月15日及び12月29日から翌年1月3日を除く）

決算額の比較増減については、人員体制の増員が主な理由ですが、増員に伴い報酬単価が増額となり、収入も増となっています。

利用実績

実利用者数(人)		延利用回数(回)	
令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度
29	30	2,836	2,749

2.2 日中一時支援事業（障害者総合支援法に基づく事業）

令和2年度支出決算額	令和元年度支出決算額	比較増減
3,669,420円	3,811,302円	△141,882円

[目的]

田原市地域生活支援事業の指定事業所として、障害者（児）の日中における活動の場を確保するとともに、家族の就労支援や日常生活の介護負担の軽減を図ります。

[主な事業内容・実績]

田原市地域生活支援事業（給付事業）実施要綱に基づき、利用者の身体その他の状況及びその置かれている環境に応じて、必要な訓練等を行いました。

○田原市社協日中一時支援事業所
 営業日 土曜日及び祝日
 田原市立学校等管理規則に定められる休業日の期間中は月、火、木、金、土曜日
 (8月13日から8月15日、12月29日～翌年1月3日を除く)
 及び学校長期休業日並びにこどもの日の後の最初の土曜日

利用実績

実利用者数(人)		延利用回数(回)	
令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度
16	23	609	775

◎在宅福祉サービス

2 3 居宅介護支援事業(介護保険事業)

令和2年度支出決算額	令和元年度支出決算額	比較増減
66,221,316円	71,131,717円	△4,910,401円

[目的]

介護保険法の居宅介護支援事業の指定事業所として、要介護者等の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるように配慮して介護支援を行います。

[主な事業内容・実績]

介護保険制度における介護サービスを利用するためのサービス計画(ケアプラン)を作成し、要介護者とその家族の生活を支援しました。

赤羽根及び渥美の2箇所に拠点を設置し、介護サービス等に関する相談支援を行いました。

○田原市社協あかばねケアプランセンター
 ○田原市社協あつみケアプランセンター
 営業日 月曜日から金曜日まで
 (祝日、12月29日～翌年1月3日を除く)

- ・各種介護相談対応、申請援助
- ・要介護者等の在宅生活を支える居宅サービス計画書(ケアプラン)の作成
- ・施設入所等の相談対応
- ・入退院時の医療機関との連携
- ・他市町村からの要介護認定調査依頼の受託

決算額の比較増減については、職員配置の減員と利用実績の減少が主な理由です。

事業所	年度末登録者数(人)		プラン作成件数(件)	
	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度
赤羽根	182	200	1,871	1,950
あつみ	192	215	2,163	2,415
計	374	415	4,034	4,365

2.4 訪問介護事業（介護保険事業及び市受託事業）

令和2年度支出決算額	令和元年度支出決算額	比較増減
30,868,136円	33,544,054円	△2,675,918円

[目的]

介護保険法の訪問介護及び介護予防訪問介護事業の指定事業所として、利用者の意欲を高めるような適切な働きかけを行うとともに、利用者の自立の可能性を最大限引き出す支援を行います。

[主な事業内容・実績]

介護を必要とする方にヘルパーを派遣し、身体介護や生活援助等のサービスを提供しました。

○田原市社協ヘルパーステーション
営業日 月曜日から日曜日
(第3日曜日、12月29日～翌年1月3日を除く)

決算額の比較増減については、職員配置の変更に伴う人件費の減額が主な理由です。

(1) 訪問介護(要介護1～5)

実利用者数(人) ※月平均		延派遣時間数(時間)		延派遣回数(回)	
2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度
15	21	1,825	2,280	2,212	2,829

派遣世帯数の減少に伴い、派遣回数及び派遣時間が減少しました。

(2) 介護予防訪問介護(要支援1～2)

実利用者数(人) ※月平均		延派遣時間数(時間)		延派遣回数(回)	
2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度
20	17	1,617	1,252	1,626	1,276

派遣世帯数の増加に伴い、派遣回数及び派遣時間が増加しました。

(3) 学校生活介助員事業(市受託事業)

障害等を有し学校生活への適応が困難な児童・生徒に対し、必要に応じて田原市内の小・中学校に学校生活介助員を派遣しています。

実利用者数(人) ※月平均		延派遣時間数(時間)		延派遣回数(回)	
2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度
0	0	0	0	0	0

※令和2年度は利用申請がないため実績なし

2.5 福祉車両運行サービス事業

令和2年度支出決算額	令和元年度支出決算額	比較増減
1,568,005円	2,224,720円	△656,715円

[目的]

高齢や障害により自力で公共交通機関を利用することが困難な方を会員とし、医療機関や公共施設などへの移動手段として福祉車両による送迎を行うことにより、在宅生活の支援に努めます。

[主な事業内容・実績]

医療機関や公共施設などへ移動する際の送迎サービスを行いました。

- 月曜日から金曜日まで（祝日、12月29日～翌年1月3日を除く）
午前8時30～午後5時15分
- 利用料金は、利用者の家から目的地までの距離により異なる
- 発着のどちらかが、田原市内であることが条件

利用実績

事業所	年間延利用件数（件）					
	高齢者		障害者		計	
	2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度
田原	385	650	204	301	589	951
赤羽根	1	0	0	0	1	0
渥美	178	279	62	49	240	328
合計	564	929	266	350	830	1,279

2.6 配食サービス事業(市受託事業)

令和2年度支出決算額	令和元年度支出決算額	比較増減
6,522,685円	7,069,815円	△547,130円

[目的]

一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯へ昼食の配達と配達時の安否確認を行い、在宅生活を支援します。

[主な事業内容・実績]

週5回、昼食の配達を行うとともに、安否確認を実施しました。

- 月曜日から金曜日まで（祝日、12月29日～翌年1月3日を除く）
- 利用者本人の負担は食事代実費（500円～530円）

利用実績

事業所	実利用者数(人)		延配食数(食)	
	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度
田原	37	35	4,556	4,912
赤羽根	9	7	818	658
渥美	29	31	2,459	3,010
合計	75	73	7,833	8,580

2.7 高齢者介護予防事業(市受託事業)

令和2年度支出決算額	令和元年度支出決算額	比較増減
1,424,095円	2,370,092円	△945,997円

[目的]

在宅で生活している高齢者の方が、できる限り要支援状態や要介護状態にならないように、生きがいや健康づくり活動などの介護予防事業を実施して、地域で自立した生活が確保できるように支援します。

[主な事業内容・実績]

○閉じこもり予防教室 市民館等の12会場で毎月1回開催

閉じこもり予防教室

病気や加齢又は環境の変化等による身体・精神機能の低下により、閉じこもり傾向の強い高齢者を主な対象者として、健康の維持・回復、認知症や寝たきりの予防を目的に「閉じこもり予防教室」を田原市内9校区の12会場で開催しました。

会場	開催回数(回)		実参加者数(人)		延参加者数(人)	
	2年度	元年度	2年度	元年度	2年度	元年度
野田市民館	10	12	11	14	82	113
高松市民館	10	12	13	15	95	140
赤羽根市民館	10	12	6	8	46	72
赤西公民館	10	12	7	11	48	100
若戸市民館	10	12	10	13	91	112
池尻集会場	10	12	3	5	21	39
泉市民館	10	12	3	4	28	32
和地市民館	10	12	14	15	91	115
堀切市民館	10	12	10	11	83	108
福江市民館	10	12	19	20	132	201
あつみライフランド	10	12	5	7	42	60
清田市民館	10	12	8	6	43	57
合計	120	144	109	129	802	1,149

◎施設・指定管理

28 田原福祉センター及び赤羽根福祉センターの管理運営（市受託事業）

事業名	令和2年度支出決算額	令和元年度支出決算額	比較増減
田原福祉センター 管理運営事業	34,961,421円	42,773,315円	△7,811,894円
赤羽根福祉センター 管理運営事業	13,174,461円	13,360,723円	△186,262円

[目的]

田原福祉センター及び赤羽根福祉センターの指定管理者として、利用者層を拡大し、高齢者・障害者等の福祉の向上、健康増進及び地域福祉の推進を図ります。

[主な事業内容・実績]

施設の適切な管理運営を行うとともに、地域福祉の推進を目的とした各種事業の実施を通じて市民が親しみやすい施設運営を行いました。また、ふれあい・いきいきサロンの定着化や季節のイベントの開催など、施設の有効活用及び利用促進を図りました。

田原福祉センター管理運営事業の決算額の比較増減については、入浴施設の利用休止に伴う保守料等の減額が主な理由です。

(1) 福祉センター利用状況（延べ利用者数）

	田原福祉センター(人)		赤羽根福祉センター(人)	
	令和2年度	令和元年度	令和2年度	令和元年度
一般利用※1 (令和2年度から 入浴施設利用休止)	15,431	36,502	-	-
会議室利用※1	21,815	34,215	2,882	2,741
健診等	3,279	3,492	0	0
その他※2	9,489	11,251	3,445	3,525
合計	50,014	85,460	6,327	6,266

※1 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月～5月まで娯楽施設及び会議室等の利用を中止。

※2 各センターのその他欄は、以下ア、イの実績を掲載

ア 田原福祉センター

「田原市社協就労移行支援事業所利用者数」1,834人

「豊川保健所田原保健分室利用者数」3,392人

「田原市地域職業相談室（ハローワーク）」4,263人

イ 赤羽根福祉センター

「生活介護事業利用者数」2,836人

「日中一時支援事業所利用者数」609人

(2) 田原福祉センターに設置されている事務所機能

田原福祉センターは、老人福祉センター機能を有するとともに市民の健康診断や予防接種などを行う場所として市民に親しまれています。

また、ボランティアグループや各種の福祉関係団体の自主的な活動を応援するため会議室の土曜日、日曜日及び夜間使用も予約制で利用可能とし、市民活動の拠点として活用されています。

ア 社会福祉法人田原市社会福祉協議会

(ア) 各種団体の事務局を担当 { P 4 (5)各種団体支援助成 参照 }

(イ) 田原市成年後見センター

(ウ) ボランティアセンター

(エ) ふれあい相談センター (結婚相談)

(オ) 多機能型事業所田原市社協 (就労移行)

イ 豊川保健所田原保健分室

ウ 公益社団法人 田原市シルバー人材センター

エ 田原市障害者総合相談センター

オ こども発達相談室

カ 母子寡婦福祉会 (喫茶及び売店)

キ 田原市地域職業相談室 (ハローワーク)

(3) 赤羽根福祉センターに設置されている事務所機能紹介

ア 社会福祉法人田原市社会福祉協議会

(ア) 田原市社協あかばねケアプランセンター

(イ) 田原市社協ヘルパーステーション

(ウ) 田原市社会福祉協議会高齢者支援センター

(エ) 田原市社協生活介護事業所なのはな

(オ) 田原市社協日中一時支援事業所

イ 赤羽根デイサービスセンター(福寿園)

◎事業報告の附属明細書

令和2年度事業報告の附属明細書については、記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものがないため、作成を省略します。